

ホウリの
自治基本条例メモ

第29話

お問い合わせ
政策調整課 (米原庁舎)
☎52-6626 ㊟52-5195

「コンプライアンスを日本語に訳すと「法令順守」っていうんだ。」

「ほうれいじゅんしゅ？」

「ルールをしっかりと守るってことかしら？」

「二人は「コンプライアンス」って言葉を知ってる？」

「えっ？ 昆布とライス？ おいしそう。」

「違っわよっ！ 食べ物の話じゃないわよ。」

「自治基本条例で、市は、市民からの信頼に応えるために、ルールを正しく理解して、しっかりと守っていくことにしているんだよ。」

「ルールを守るって当然のことだけど、大事だよね！」

「僕も学校では、クラスの約束事をちゃんと守ってるよ。」

「一人でも約束を破ると、クラスみんなが信頼を無くしちゃつことがあるもんね。」

「そのとおり！ 法律や条例に違反しないってことだよ。」



政策調整課の職員が、まちづくり団体を訪問。熱意をもって活動されているみなさんの「心意気」をレポートします。

田舎みそ加工グループ

- 会員 15人
- 連絡先 代表 丸本愛子 ☎55-0081
- 活動日 柏原田園交流センターで毎日活動



今回おじゃました田園みそ加工グループでは、地元で採れたお米や大豆を使って様々な種類の味噌やこうじ、そしてそれらを使ったパンやケーキ等の商品も研究を重ねながらすべて手づくりされています。

代表の丸本愛子さんは、都会で生活されていたとき、田舎では自分の畑でたくさん採れていた野菜が都会で粗末に扱われているのを見て、「食べ物を大切にしなければ」という意識が芽生えたそうです。

そして、もともと郷土料理のお店や料理教室をされていたこともあり、平成13年に田園みそ加工グループとして活動を始められました。メンバーの方にお話を聞いたところ、「活動を始めて10年目だが、毎々が“1年生”と思って初心を忘れない」とのこと。様々な地域から集まってきたメンバーでのお話が、活動をいっそう楽しいものにしてくれます。

丸本さんは、「現代は食の欧米化が進んでいるが、日本人の体には日本食が一番合っているし、そうした伝統食を守り、伝えていくのが役目だと思っている。活動をすることで自分もうれしいし、相手も喜んでもらえるし、みんながうれしい」と、柔らかい笑顔で語っていただきました。加工所で作られた商品は、市内の直売施設やイベントで販売されているほか、小学校や幼稚園・保育園の給食にも使用されています。

寒さも厳しくなってきましたが、今日は、日本食ならではのあたたかいご飯と味噌汁はいかがでしょうか。

掲載希望はこちらまで

お問い合わせ 政策調整課 市民協働推進室(米原庁舎)
☎52-6626 ㊟52-5195